

**スポーツおよびライブ・エンタテインメント業界初、  
在庫連携機能付きチケット流通プラットフォームのサービスをリリース  
～IoT/AI時代のチケット流通のデジタルトランスフォーメーションを実現～**

株式会社 IoT スクエア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：白木 道人、以下「当社」）は、スポーツおよびライブ・エンタテインメント業界が抱える従来のチケット流通の課題を解決し、興行事業者、チケット販売事業者、消費者それぞれの利便性を高めることができる次世代型のチケット流通プラットフォームとして「チケットデータセンター」（以下「tDC」）サービスを開始致しました。

本サービスは、「tDC 票券」、「tDC 在庫連携」、「tDC 販売ASP」の3つから構成されます。

① tDC 票券

「tDC 票券」は、興行事業者がチケットを販売管理するためのバックヤード作業環境システムで、個席ごとの販売事業者別の配券設定などが極めて簡単に実現します。また、「tDC 在庫連携」と接続することで、一連の配券作業が効率化され、労務コストの大幅な削減が可能となります。

② tDC 在庫連携

「tDC 在庫連携」は「tDC」の中核システムで、複数の興行事業者と複数のチケットの販売事業者を相互に接続することで在庫共有を実現します。興行事業者は全ての興行の販売状況を容易に把握でき、席数を自由に増減することや、個席単位で随時価格を変更することも可能になり、効率的な販売ができます。

「tDC 在庫連携」に接続することにより、既存の販売事業者はもとより、スポーツおよびライブ・エンタテインメントと親和性の高いECサービスを展開する事業者や、スポンサー企業を始めとするさまざまな異業種のWEBサイトを経由したチケット販売が可能となります。これにより、販売チャネルの多様化を通じてチケット購入者の裾野を拡大し、興行事業者の収益拡大に寄与いたします。

### ③ tDC販売ASP

「tDC販売ASP」は、WEBを中心とした販売システムで、異なるデバイス（スマートフォン、タブレットやPC等）に対応しており、各種決済方法（クレジットカード決済、コンビニ入金、銀行入金、電子マネー等々）の選択、各種発券・受取方法（コンビニ発券、電子チケット等）、でチケットを販売できるサービスです。座席画面から自ら希望する座席を選択して購入することも可能で、消費者の利便性向上を図ることができます。

#### ■サービスの背景

あらゆるモノがITによって効率的に流通する仕組み—いわゆるデジタルトランスフォーメーション—があらゆる業界で推進される中、スポーツおよびライブ・エンタテインメント業界におけるチケット流通の業務には、「個別システムのため他システムとの連携が困難」、「それに伴いサービス拡張・拡大が困難」、「管理（労務）量の増大」など様々な課題が依然として存在しています。

スポーツおよびライブ・エンタテインメント業界は、ここ数年、興行動員の増加を背景に、市場は拡大傾向が続いておりました。しかし、今春の新型コロナウイルスの影響で世界経済が大きな影響を受け、日本のスポーツおよびライブ・エンタテインメントの興行・公演も同様に大きな影響を受けています。

tDCは、これまでの課題を解決し、興行事業者、チケット販売事業者、消費者それぞれの利便性を高めることを実現するだけではなく、このコロナ禍においてもスポーツおよびライブ・エンタテインメントに関連する物販や映像配信サービスなどを容易に連携・実現することで、興行事業者様、販売事業者様、消費者の皆様の新しい生活様式に適応したサービスを実現する次世代型のチケット流通プラットフォームです。今年2020年1月から、既に大手プロモータで運用を開始し、今年秋にはプロ野球球団でも利用開始となります。

#### ■サービス内容

「tDC」では、業務の効率化を図る中核システムとして「tDC在庫連携」を提供致します。「tDC在庫連携」は、インターネットにおける通信トラフィックを交換する「インターネットエクスチェンジ（Internet eXchange）」と同様、事業者間でチケット情報を交換する相互接続ポイントです。

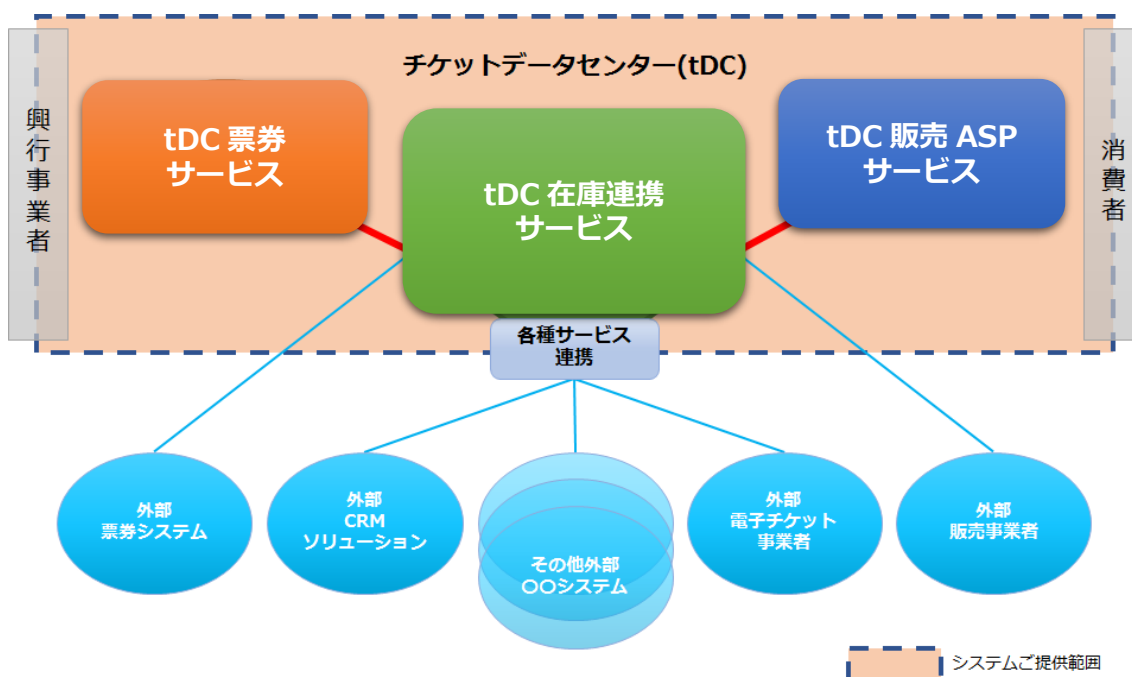
これまで興行事業者や販売事業者毎に個別管理されて来たチケット在庫を共通管理し、在庫連携が行えるほか、チケット毎にユニークなIDを発行し、座席番号の振り出しを行います。

外部のCRMや、需給に応じて価格を変動させるいわゆるダイナミック・プライシング・サービスとの連携も想定したAPI※を用意しており、委託販売方式では興行事業者側が得られなかった会員情報や購買履歴などの情報を、興行事業者側が一元的に管理できるように

なります。集約した販売実績データを分析する事で、興行事業者がもつコンテンツをより収益に結び付けるためのマーケティング活動に活かすことができます。

### ■サービスイメージ図

「tDC」では下記の図のように、「tDC在庫連携」を中核として、「tDC票券」、「tDC販売ASP」を興行事業者や、販売事業者に提供致します。また、「tDC」では、「tDC在庫連携」を媒介にして、興行事業者と販売事業者のみならず、外部の販売事業者や電子チケット事業者、CRMソリューション等、チケットにまつわるあらゆるサービス主体が、すべて言語や環境に依存しないWeb API接続※をすることによって、相互に連携することができる共通プラットフォームです。



### ■今後の展望

当社 (<https://www.iot-sq.com/>) は、2017年(平成29年)10月2日に設立されました。当社の提案する次世代型チケット流通プラットフォームである「tDC」の実現により、興行事業者には、自社販売比率の上昇、稼働率の上昇、配券業務のコストダウンを、プレイガイド様には、業務効率の向上や、システムコストの低減を、消費者の皆様には、さらなる利便性の向上を実現することをミッションとしております。

デジタルトランスフォーメーションが進み、これまでの常識が変化していく中で、当社は「tDC」を通じて、新しいビジネスモデルを通じた価値の提供による顧客体験の進化、業務プロセスの強化・改善を提案して参ります。また「tDC」を活用し、興行事業者様、販

売事業者様、消費者の皆様にとって魅力的な新たなサービスの開発にも取り組んで参ります。

本サービス展開にあたっては、幅広い業種のパートナー企業との資本・業務連携を予定しております。

---

※API (Application Programming Interface) とは

「tDC」では興行公演や、購入の情報などを取り扱うための機能を、Web API として外部に向けて公開しています。API (Application Programming Interface) とは、あるシステムの機能やデータを、外部のアプリケーションから利用できるようにするためのインターフェースです。中でも、HTTP 通信によってやりとりを行う API を Web API といいます。

例えば地図や気象のデータや、機械学習機能など、様々な Web API が公開されていますが、それらの Web API から取得したデータを加工したり、複数の API を組み合わせたりして、新たなサービスを開発することができるようになります。

■報道関係お問い合わせ先

株式会社 IoT スクエア チケット事業部

電話：03-6384-1271

E-mail：[pr@iot-sq.com](mailto:pr@iot-sq.com)